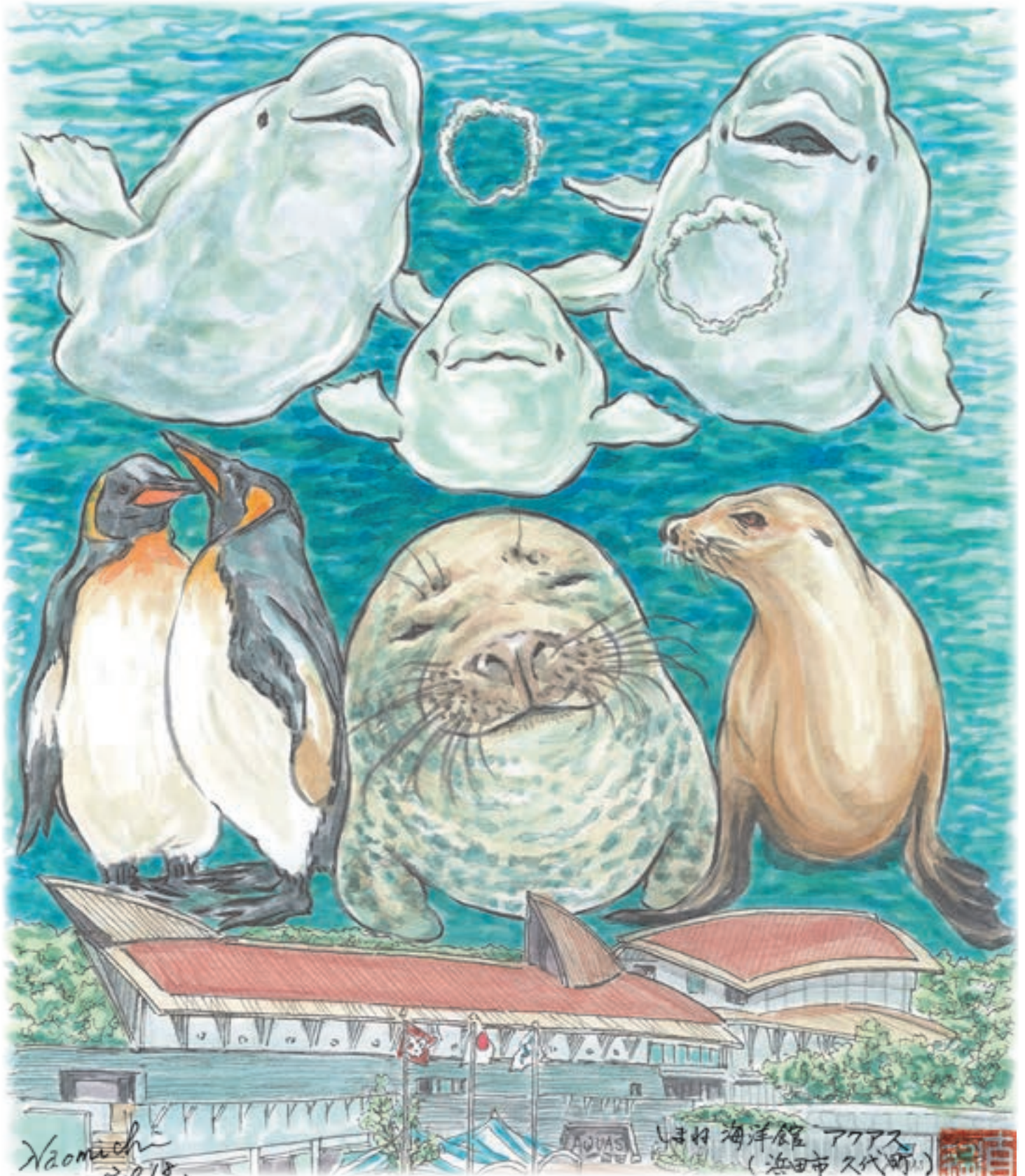


JAしまねびより

2018
5
May Vol.26

特集 島根のいいもの再発見!! 「浜田市 原木乾シイタケ」 いわみ中央地区本部





島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【浜田市 原木乾シイタケ】

5月は、いわみ中央地区本部。浜田市旭町で、原木乾シイタケを生産している、いわみ中央原木乾椎茸生産組合長の、岩地正男さんにお話をお伺いしてきました。



お話をお伺した岩地正男さん。

原木シイタケの生産をはじめてどのくらいになりますか？

20歳の時から父親の原木栽培を手伝いはじめました。もともと地元農協で働いており、27歳で特産部門に配属となり、50歳までの23年間、シイタケなどの営農指導や販売促進業務を行ってきました。その後退職し専業のシイタケ生産者となり20年、今年で70歳になります。現在は山の中にある自然のほだ場のほかに、500㎡と200㎡のパイプ造の人工ほだ場があります。全体で1万1,000〜2,000本の原木があり、年間6〜8万駒を植菌、乾燥すると生の10分の1の重さになります。毎年500〜600kgの乾シイタケを出荷しています。



大規模な人工ほだ場を整備したことで、作業効率が格段にアップ。県内でも屈指の生産量を誇る。

どのように栽培するのですか？

原木は一部、クスギの木を共同購入していますが、基本はナラの木を周辺の山から切り出してきます。その木を約1メートル前後に玉切りしてシイタケの菌を植える原木を整形します。自然の木なので太い木もあれば細い木もあるので一概には言えませんが、平均20カ所に穴を空けシイタケ菌の駒を打ち込んでいきます。原木は春に植菌すると二（ふた）夏経過後の秋から翌年の4月頃まで収穫できます。その後、乾燥させて、乾シイタケとして商品を出荷しています。原木はシイタケが生えだしてから4年間位有効で、毎年約3,4,000本の原木に植菌し、更新作業を行いながら出荷量を維持しています。



原木「ほしいたけ」。ネーミングやパッケージに遊び心をもたせた商品も展開。

原木栽培で大変なことや、 こだわりなどありますか？

整形した原木は8〜10kgの重さがあり、搬入や移動、天候替えなどの作業は、数が多い重労働です。また、人工のほだ場は骨組みの隙間が空いており、自然の木漏れ日が差す程度の日差しが入るようになっていきます。農薬や肥料も一切必要ない反面、自然にまかせて栽培するので、シイタケの発生は天候にとっても左右されます。水分や温度の状態によってシイタケが発育していきますが、寒暖差が激しい春先では、極端な温度差がシイタケの負担になります。冬場には低温刺激と併せ、程良い積雪で水分を補充しますが、雪が多すぎると原木に悪影響があるので、常に自然と向き合いながら作業しています。こだわりの1つとしては、収穫時にヒダを触らないよう徹底し、シイタケの間

には必ず新聞紙を挟んでヒダの間にゴミが入らないよう、痛まないように心掛けています。



岩地さんの商品に対する想いや、優しい心遣いの一つ一つが、数々の受賞歴に繋がっているのだと納得。

シイタケの乾燥はどうやって するのですか、また乾燥させる メリットなどありますか？

収穫したシイタケは専用の乾燥機械に入れて乾燥させます。大昔はムロ（室）を作り、炭を焚いてその上で乾燥させていました。現在は乾燥機で行いますが、以前の乾燥機は夜中に起きて乾燥機の温度調整などをしなければなりません。技術の進歩で一度設

定すると、乾燥機が全てオートメーションで行なってくれるので作業効率は格段に上がりました。それでも微妙な温度のかかり方一つで、赤くなったり茶色くなったりします。ヒダが均等に綺麗に並び、黄色い色が鮮やかに出るよう、乾燥機の風の流れや微妙な温度差の違いを見定め、並べ方を工夫することで乾燥ムラの減少や、仕上がりに細心の注意を払っています。私は乾シイタケのみ出荷しています。原木シイタケは独特の高い香りが特徴で、乾燥させると長らく保存できる上、さらに栄養価が増すとされています。生シイタケよりもさらに風味が増し、食べた人からは「香りが非常に強く、すこぶる美味しい」と言っているだけなのが、モチベーションに繋がっています。

今後の抱負や展望を聞かせてください。

植菌と原木にするための玉切りの際は臨時のパートを雇っていますが、基本は私たち夫婦と娘の3人で作業を行っています。現状の労力では有効ほだ木1万5,000本までを目安にしていますが、これまでと同じように量よりも質に重点をおいています。ほとんどのシイタケは水で戻すと、丸い元の形に戻りますが、



とってもかわいいお孫さん、「じいじのシイタケ、美味しいからわたしも大好き!」とPRを買って出してくれました。

乾燥後の形が非常に綺麗なものは全体の2割程度です。これまで以上に形の良い乾シイタケの生産を続けていきたいです。昔は旭町だけでも2000人はシイタケを生産していましたが、現在は浜田管内で50人程度まで生産者が減っています。「昆布・シイタケ・カツオ」は昔から日本料理の3大旨味成分といわれています。孫の代やその次の世代、後世に日本の伝統の味を残す一役を、少しでも担えればと考えています。



大切に育て、加工される原木乾シイタケ。永きに渡る歴史と想いがたっぷり凝縮され、地域に残る宝として継承されていく。

原木乾シイタケ 一口メモ

浜田市旭町は、米、和牛と並んで原木シイタケが昔から盛んに栽培されてきた。なかでも原木で栽培した乾燥シイタケは県内最大の生産地で、岩地さんはそのリーダー的存在。11回行われた島根県乾椎茸品評会では、最高賞の県知事賞を8回受賞するほか、平成26年にはキノコ類の研究者や経営者を表彰する「第36回森喜作賞」を受賞するなど、数々の名誉ある賞を獲得している。その情熱は普及活動にも及び、地元の小学生を対象にした森林教室や多くの講習会で講師を務め、これまで培った技術やノウハウを惜しみなく紹介・伝授している。

◆◆お問い合わせ先◆◆

JAしまねいわみ中央地区本部
営農企画課
[TEL] 0855-22-8812

人工のほだ場は、自然の山に近い環境を様々な工夫で再現。木漏れ日や適度な湿度を作り出すことなどが、良質な原木シイタケを育てるポイント。



乾燥機とはいえ、乾燥前のシイタケの状態を見ながら細かな工夫や管理をしていくことが、自慢の品質につながっている。



チャレンジ「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3力年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

地域社会への貢献

島根県の推定人口（平成29年10月1日現在）は、684千人、65歳以上人口の割合は、33.6%となっています。人口の減少や高齢化にあって、地域の方々が心豊かに安心して暮らせるよう、また元気がでるよう、地域のこと、住民のこと、自らのことを考えて活動している団体が数多くあります。

JAしまねは、様々な会社と同様に「社会の公器」の認識のもと、地域への貢献として、「一隅を照らす」活動を継続的に行っている団体を支援し、地域を盛り立てていきたいと考えています。

平成25年度から始めた「地域貢献・地域活性化支援事業」において、これまで、地域活性化団体活動表彰として107団体、地域活性化活動支援として活動経費の支援を94団体に行なってきました。

団体活動として表彰させて頂いた取り組みをいくつかご紹介いたします。

H28年度団体活動表彰



団体名	活動概要（当時）
アグリレディースネットワークヒロイン	斐川町の農家の“嫁”が、男手を一切借りず女性だけのステージをつくりあげ、女の力を結集し女の底力をアピールし、女の更なる活躍の場を訴求しています。1年に1回、8月に「ひかわ女の夏まつり」を開催し、町内の各種組織や、グループなどに出演依頼をし、3時間にわたりステージを盛り上げています。【H25年】
島根県飲食業生活衛生同業組合 益田支部	益田市には高津川と益田川があります。清流日本一の高津川に比べ、益田川の下流域でごみの散乱が目立っていましたので、環境美化に6年前から取り組み、今年度からはスポーツ少年団からも多く参加頂きました。また、JA生産部会との連携により食・農地・環境に関わる地域貢献活動を展開しています。【H26年】
PEC雲州	PEC雲州によるベックマンヒーローショーを通して、今後の少子高齢化や過疎化など、地域の課題・問題点を皆で考えてもらい、地域住民一人一人の協力により地域の活性化に取り組んでいます。ひらた農業まつりでの「ベックマンショー」、地区の夏まつり、宍道湖清掃活動参加、ベックマンサンタとして幼児宅訪問等の活動を展開しています。【H28年】

今年度も表彰や支援団体を募集します。皆さまのご応募をお待ちしています。

元気な島根を応援します!

【事業内容】

- ①地域活性化に取り組むグループ・団体表彰**
地域への貢献や活性化に取り組むグループ、団体を表彰します。（副賞20万円）
- ②地域活性化活動支援**
地域への貢献や活性化に資する活動を維持・拡大または開始するための資金を支援します。（活動費用（飲食を除く）の2分の1、上限10万円）

支援総額 700万円

平成30年度 地域貢献・地域活性化支援事業

JALしまねでは地域における歴史・自然・文化等を活かした「地域力」発揮による「元気な地域づくり」を応援しています。今年度も「地域貢献・地域活性化」に取り組むグループ・団体等の表彰や活動を支援する事業を行います。



【対象団体】

- ①地域活性化に取り組むグループ・団体表彰**
地域住民やJAの組合員が構成員であるグループ・団体・非営利法人（農事組合法人、特定非営活動法人に限る）で、活動歴が5年以上あること。ただし、次の場合を除く。①自治会、②過去に当該事業の表彰を受賞または活動費用の支援を受けたグループ・団体・非営利法人。
- ②地域活性化活動支援**
地域住民やJAの組合員が構成員であるグループ・団体・非営利法人（農事組合法人、特定非営活動法人に限る）。ただし、次の場合を除く。①自治会、②氏子会、護国寺会、③過去に当該事業の表彰を受賞または活動費用の支援を受けたグループ・団体・非営利法人。
※なお、表彰や活動支援は、当該事業全体を通して、1団体1支援とします。

【募集期間】平成30年5月14日（月）～7月31日（火）

【応募方法】お住まいの地区本部へ応募してください。

事業の詳細は、地区本部の地域貢献活動またはふれあい活動担当部署にお問い合わせいただくか、JALしまねのホームページ <http://ja-shimane.jp/> でご確認ください。





JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

農事組合法人のきの郷

代表理事 山本 耕一

安来市の農事組合法人「きの郷」は、平成25年に設立し、県下有数の穀倉地帯である能義平野のほぼ中央に位置しています。組合員数151名、経営面積約150ヘクタールで、地域農業の維持・発展に貢献することを基本方針とし、地域の活性化と新たな就労の場の提供、より安定した組織の構築を目指しています。

水稻、大豆など土地利用型作物を経営の軸としながら、トマトやキャベツの栽培、菜種油の製造・販売など経営の多角化を推進しています。また、安全・安心・美味しい農産物を消費者に提供するため、平成26年にトマトの美味しまね認証を取得しました。

平成28年、キャベツの栽培を開始するにあたり、JAしまねの農業振興支援事業を活用して生産機材一式と苗を導入しました。平成29年の栽培面積は1.6ヘクタール、販売額は720万円と順調に実績を伸ばしています。また、平成29年に同事業で大型コンバインを導入し、農作業のいっそうの効率化を図っています。

農業を取り巻く環境は常に不安定要素が多い中で、JAしまねには、農家の皆さんが安心して生産や出荷ができる環境づくりに取り組んでもらうとともに、より地域に根差した事業活動の展開を期待しています。

私たちが、引き続き、JAしまねと緊密に連携しながら、地域農業の発展に寄与していきたいと思えます。



お詫び

JALしまねびより4月号JALしまね農業振興支援事業の紹介において、高橋裕介さん（30）は、高橋裕介さん（36）の誤りでした。謹んでお詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

島根県西部を震源とする地震により被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

島根県農業協同組合
代表理事組合長 竹 下 正 幸

雲南

県内有数の花き生産地 トルコギキョウ育苗順調

島根県、広島県、鳥取県の3県にまたがる三国山（みくにやま）の中腹に位置する、奥出雲町三井野原は、標高700メートルの冷涼な気候を活かして古くから県内の花き生産をけん引しています。

4月11日には雲南地区本部の横田育苗センター（奥出雲町横田）で県東部農林振興センターが主催する育苗検討会が開かれました。三井野原花き出荷協議会員やJA職員らが集まり、平成30年産トルコギキョウの育苗状況について確認しました。同地区本部管内のトルコギキョウの年間生産量は約30万本で、三井野原地区はその8割を占める一大産地です。

4月下旬には生産者の元へ苗が渡り、8月上旬からお盆に合わせた出荷が始まります。同育苗センターの田中寛樹職員は「温度管理や灌水作業を適切に行い、生産者が納得のいく苗を出荷できるよう努めていきたい」と管理に精を出します。



生育状況を確認する参加者

くにびき

地産地消で地域を活性化！ 「さんちよく営農塾」開講～17名が学ぶ～

くにびき地区本部では4月4日、中海干拓研修センターで「さんちよく営農塾」の開講式を行いました。

同塾は今回で3期目となり、農業に関心があり、将来、良品の農産物を収穫し「JA産直コーナー」への出荷を目標とする人を対象に募集。基礎知識と圃場実習、模擬出荷体験などの内容で一年間かけ、研修します。

当日は、塾生17名が出席。冒頭、塾長の中村隆営農経済部長が「産直は安心安全で、おいしいものが買えるというイメージをもっている方が多い。産直に出荷することで、地域の農業生産を盛り上げていきましょう」と挨拶。続いて、塾生は自己紹介と、それぞれの農業に対する思いや今後の目標を発表しました。

その後、第一回目の講義として「土づくりと連作障害対策」について学び、場所を圃場に移し「さといも・しょうがの芽だし作業」を行いました。

夫婦で受講された岸井智さんの奥さんである麻美子さん（東来待）は「ゼロからの挑戦ですが、学習し、産直への出荷や、将来カフェを開いてその店で、提供したい」と目標を語りました。



講義を受ける塾生

隠岐

西郷家畜市場の新設について

隠岐地区本部管内では、毎年、年3回の家畜市場を開設し、隠岐の雄大な自然で放牧された足腰の強い黒毛和牛種の子牛の売買が行われています。現在の西郷家畜市場は、隠岐の島町有木地区にある島後畜産センターにて行われていますが、施設の老朽化等により先般3月に開設された家畜市場をもって閉鎖され、新たに同町今津地区に新西郷家畜市場の建設を現在行っています。5月に予定されている竣工を経て、次回7月の家畜市場からは、新しい場所での開設となります。

管内の繁殖牛生産は、一時生産農家の減少とともに家畜市場への子牛上場頭数も減少していましたが、現在は、同町の基幹産業として振興され、畜産事業への企業参入等もあり、年間の子牛上場頭数は300頭を超え、販売高も2億円を超えている状況です。



やすぎ

からだ年齢チェックと健康体操

女性倶楽部えによび第3期生は4月4日、講師にJA島根厚生連の保健師の鐘築健人氏を招いて第4回目となる講座を行い、19名が参加されました。

はじめにウォーミングアップで頭の体操を行い、体組成計で筋肉や水分の割合などを測定しからだ年齢を割り出すことで、自分のからだの現状について学ばれました。続いて、講師から健康体操の1つであるレインボー体操を教わり、最後には音楽に合わせて皆さんで体操が行われました。

参加者は「体組織チェックで自分のからだはどうなっているのかを知れて良かったです」「体操で首肩回りが楽になって、ポカポカとからだ温まり気持ち良くなりました」と話されました。



斐川

春休みちゃぐりんフェスタ開催

4月5日、斐川地区本部は、3月にリニューアルしたばかりの料理教室「ひかわめぐりキッチンふぁみーゆ」で、小学生を対象とした「ちゃぐりんフェスタ」を開催し、21人が参加しました。食育に関わりながら、友達づくり、思い出づくりを目的に、春休み版として企画され、子ども向け雑誌「ちゃぐりん」を参考に、職員、女性部員が講師を務め、○×クイズやプラ版工作、ピザ、スープ、プリン料理に挑戦しました。参加した子どもたちからは「違う小学校の友達ができて嬉しかった」「楽しかったので次も参加したい」といった感想が寄せられました。担当した職員は「一緒に作業をすることでJAを身近に感じてもらうことが出来た、今後も子供たちの喜ぶ企画を考えていきたい」と意気込みを語りました。



みんなで作った料理を完食!

隠岐
どうぜん

交通安全用反射材を贈呈

3月27日、隠岐どうぜん地区本部の清水雅美副本部長が西ノ島中学校を訪問し、交通安全用反射材を贈呈しました。共済事業を通して「安全で安心な社会づくり」を目指しているJA共済では、毎年新1年生を対象に、交通安全資材として「夜光反射タスキ」と「自転車用夜光反射テープ（サイクルヒット）」を贈っています。

今年度は、同地区本部管内（西ノ島町、知夫村、海士町）の3校にそれぞれ38本を贈り、山中慎嗣校長は「登下校時には生徒全員が着用し、安全確保と交通事故防止に役立っています」と感謝の言葉を述べられました。清水副本部長は「生徒に事故がないことを祈っていますので、学校での適切な交通安全の指導を期待しています」とお願いしました。

同地区本部（JA共済）では、これからも様々な活動を通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献していきたいと考えています。



山中慎嗣校長（左）と清水雅美副本部長（右）

石見銀山

地震被害を調査

4月9日未明に発生した島根県西部を震源とする地震により、大田市では多くの建物被害に見舞われました。

石見銀山地区本部では、建物更生共済加入者より被災の報告を受け、調査を行っています。

被害にあった被共済物件は4月13日時点で700件以上で、部署の枠を超え、職員が調査にあたっています。

地震発生直後は断水も発生し、地域のライフラインに打撃を与えました。

瓦の崩落や壁に亀裂が生じている家も多数あり、被災の状況を調査するとともに、JA共済のブルーシートをお渡ししました。

被害にあった住民は「こんな地震は初めて経験した。余震が続いたので眠ることができなかった。今後も地震が起きる可能性があるのが怖い。」と話しました。



被害にあった建物の調査を行う職員

出雲

シーズン到来！ ラピタビアガーデン オープン！

出雲地区本部では毎年恒例となっている「ラピタビアガーデン」の営業を4月13日、ラピタ本店屋上で開始しました。開放的な雰囲気、小さなお子様から年配の方まで幅広く楽しんでもらえる交流の場として毎年開催しています。

初日は仕事帰りの方を中心に約150人が来場。オープニングセレモニーでは、JAしまね出雲女性部西部地区のグループ「和太鼓 縁（えん）」が力強い演奏で注目を集めたほか、地元バンド「はびねずKnight's & Emi」の親しみのある曲目で会場を盛り上げました。

ビアガーデンは9月30日までの期間中、午後5時半から午後9時まで毎日営業します。常時50種類の料理を準備し、バイキング方式で飲み放題、食べ放題となっています。また、今年は毎週火曜日にブラジル料理コーナーを設置する「ブラジルフエア」を新たに企画しました。季節に合わせた料理や楽しんでいただける企画、お得な企画を多数用意し、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



ご予約・お問い合わせは生活部プライダル課 TEL0853-21-6063まで。（お問い合わせ時間／9：30～20：00）

西いわみ

全役職員一丸で取り組む 平成30年度事業進発式を開催

西いわみ地区本部（田村清己本部長）は4月7日、益田市遠田町で開催した平成30年度事業進発式で、出席職員全員によるグループディスカッション「ワイガヤミーティング」を行いました。

チームワークによる共感と一体感の環を作り職員の熱意を引き出し平成30年度事業に臨みます。

田村本部長はミーティング開始にあたり「メンバーが一人ひとりの意見を聴くことで情熱や感動を感じ、文字にすることで共感を呼ぶ。アイデアや工夫、知恵を出し合うことで一体感が生まれ、チームとしての覚悟や信念、責任に基づく行動につながる。遠慮せず意見を出し合い行動に移してほしい」と職員を鼓舞し「熱意あるJAマンになろう」と職員に呼びかけました。

当日は正職員と嘱託職員、臨時職員を合わせた出席者164名を22の小グループに振り分けました。

グループメンバーは、課題の発見、課題の解決策、解決策の実行という3つの質問に対してそれぞれ討論をかわした後、代表者がメンバーから出た様々な意見や提案などを発表しました。

出席した職員の一人は「全員で行うミーティングで共通の意識を高めることができ新鮮だった。目標達成を目指しがんばりたい」と新年度にける意気込みを語りました。

このほか、会場では出席役員らがJA自己改革で目指すものや取り組むものの重要性を説いたほか、各事業部門の代表者が平成30年度の方針を述べました。

最後に若手職員による決意表明とガンパロー三唱で式を締めくくりました。



本店

JAしまね入組式 ユースカレッジも開始

4月2日に松江市のJAビルで入組式を行いました。今年度は47人の職員を新たに迎えることができました。

新入職員を代表して、やすぎ地区本部の米山菜摘職員が「組合員の皆様を、農業面から生活面まで幅広く支えていくことが使命だと認識し、信頼される職員となるよう精進します」と決意表明しました。

同日より新入職員向け研修「JA島根ユースカレッジ新入職員課程」もスタートしました。期間は来年1月までで、集中研修期間と位置づけた4月2日からの3カ月間は、合宿研修や職場実習を行います。研修では、JAの基礎知識や社会人としての心構えをはじめ、職員として必要な知識・実務の習得を目指します。また、農業実習も行い、農業に関する理解を深めます。

JAしまねが掲げる、「組合員・利用者から信頼され、選ばれ、必要といただけるJAを築く」という理念のもと、入組時に抱いている志を忘れることなく現場で活躍してもらいたいと思います。



新入職員を代表して宣誓を読み上げる米山職員（中央）

島根おおち

三江線ラストラン

島根県江津市と広島県三次市を結ぶJR三江線が3月31日、最終運行を迎えました。各地の駅で地元の方や、鉄道ファンが別れを惜しむなか、島根おおち管内の各駅でも多くの人が集まり、三江線の最後を見送り賑わいました。

美郷町の粕淵駅では昨年12月に地元で開催された鴨山駕籠かき大会に出場した際、歴代の車体をモデルに職員が作成した3輦の駕籠が展示され、邑南町の宇都井駅では、うどんの販売等のバザーが行われ、島根おおち女性部の地元部員も協力し、ラストランを盛り上げました。

三江線全線開通当時を知る方は、当時の思い出しながらのお別れとなったようです。

島根おおち地区本部では、管内の各地域で行われる行事への参加により、「地域の活性化」に取り組んでいきます。



いわみ中央

プルタブ回収運動で車いす贈呈 ～小さな積み重ねが地域貢献に～

いわみ中央地区本部（井上宗治本部長）は、4月上旬、自走式クルマ椅子1台を江津市社会福祉協議会（黒川聡会長）に贈呈しました。同事務所を訪問し地区内の介護支援活動に役立てて欲しいと贈ったものです。これは、同地区本部が平成24年度より管内組合員・利用者呼びかけているエコ運動の一環で同地区本部管内の各支店・事業所でのプルタブ回収運動の成果として行っています。井上宗治本部長は、「捨ててしまえばただのゴミだが集めれば有効な資源としてクルマ椅子に変え贈ることが出来る。今後もこのような活動を続けて行きたい。」と話しました。受取った黒川聡会長は、「最近是在宅介護支援活動が増えている。有効に活用させていただく。」とお礼を述べました。



井上宗治本部長（左）と黒川聡会長（右）

タテのカギ



- ①相場や、商品の一番安い価格のこと
- ④バラや菊の生産量日本一の県
- ⑦砂浜に上陸して卵を産みます
- ⑨笑い話の最後につけるもの
- ⑩くしやブラシでとくします
- ⑪贈り物に掛けて結びます
- ⑬丸い頭に円筒形の体の木製人形
- ⑮著名人に「書いてください」とねだるもの
- ⑯砕けて石や砂になります
- ⑰バイオリンやハーブに張りまします
- ⑱カレシやカノジョのこと
- ⑳サトイモやヒョウタンは——繁栄の縁起物とされます
- ㉑意見がまとまらないまま——発車した

ヨコのカギ



- ①株主——は6月に多数開かれます
- ②——に挟んだんだけど……Aさん、結婚するんだって？
- ③ボジの反対語
- ⑤H+とかOH-とか
- ⑥6月の第3日曜日は——の日です
- ⑧小麦粉のこと
- ⑫親指の別名です
- ⑬——の洗いを酢みそで食べます
- ⑭ヒナはひよこ。とさかがあります
- ⑮呼吸で血液中に取り込みます
- ⑯眠っている人が出す騒音の一つ
- ⑰一年で一番夜が短い日
- ⑲国語辞典を引いて調べます

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7	10			17	20
2				15		
3			13			
	8	11			18	
4		12			19	21
5	9			16		
6			14			

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係
平成30年6月5日（火）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「ミドリノヒ」



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

「良質な睡眠」とってますか？

眠りが浅い、何度も目が覚めてしまう、仕事の疲れでなかなか眠れないなど、「不眠症」の症状が出る方が近年増えてきているようです。
眠れないといっても原因や症状はさまざまあり、眠れないことによる心身の不調が生じる、日中の活動・生活に支障が生じる場合に「不眠症」として治療が行われます。不眠症は、睡眠時間がとれないことよりも、質の高い睡眠がとれず疲労回復ができないことが問題で睡眠薬を使うのではなく、まずは、日常生活の中で改善できることから取り組んでみましょう。

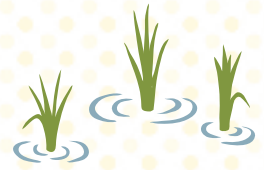
1. 良質な睡眠のためにできること

1. 毎朝同じ時間に起きる…自律神経を調節するために、毎朝同じ時間に起きて身体のリズムを整え、太陽の光を浴びるようにします。これを習慣づけていくと「体内時計」が整い、一日の周期を正常に保つことができます。
2. 適度な運動を行う…ウォーキングなどの有酸素運動を行うと、適度に体が疲労し脳が休息を求め、速やかな睡眠を促せます。しかし、逆に寝る直前で過度の運動をすると、交感神経が刺激され、逆効果になりますので注意が必要です。軽いストレッチが効果的です。
3. 刺激物を避ける…カフェイン等の刺激物は交感神経を刺激するため、寝る前にコーヒーやお茶などを飲むことは不眠症を悪化させるといえます。また夜間頻尿の原因にもなるため、ホットミルクや白湯を飲んで体を温めることが最適です。
4. 寝る前には柔らかな光にする…パソコンやテレビ、携帯電話の画面などは寝る直前には見るのを控えて、部屋の電気は明るくしすぎず、柔らかな間接照明などで光を抑え気分を鎮めましょう。
5. 寝酒は効果的？…確かに、アルコールに不安を抑えたり精神の緊張をほぐしたりする作用がありますので、たまに飲酒するのであれば寝入りをよくするには効果的なこともあります。しかし、常用したり大量に飲んでしまうのはかえって逆効果。アルコールは夜間前半の睡眠を増加させますが、その作用が長続きしないために夜中や早朝に目が覚めてしまうことになり、かえって睡眠が不安定になります。アルコールは睡眠薬ではないので、ほどほどに…

今までの睡眠を見直してみると、少しの工夫でぐっすり眠れるようになるかもしれません。それでもなかなか眠れない人は、無理をせずに医療機関に相談してください。

営農技術情報

5月に入り、田植えが進んでいることと思います。
 今回は、除草剤の効く仕組みについて説明します。
 「除草剤がなぜ効くか」ということを知っているのと知らないのでは得られる効果が随分違うと思います。なぜ除草剤が効くかを知った上で効果的な除草に取り組んで頂きますようお願いいたします。



多くの水稲除草剤は、灌水状態（田に水を満たした状態）で散布後土壌表面に除草剤の有効成分を含む処理層を形成します。雑草の種子が発芽すると、芽とその芽の基部にある成長点が除草剤の処理層に触れることで枯らすことが出来ます。またイネは育苗後に植え付けられることから成長点は土の中にあり、直接処理層にあたることはないため使用時期、植え付け深度等に問題がない限り枯れることはありません。

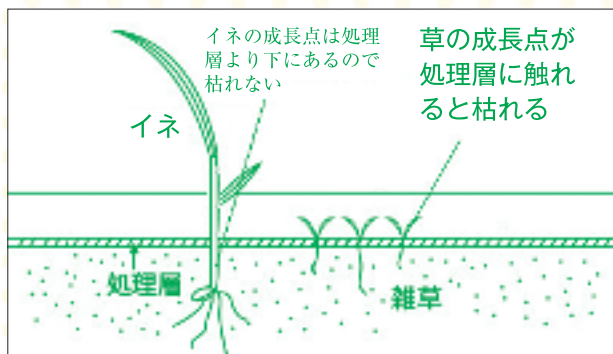
この除草効果を最大限に発揮するためには代かきで田面を平らにすることなどが重要です。雑草の葉齢が進みすぎると成長点の位置が変わるなどし除草剤の効果が発揮できなくなるため、散布の時期やタイミングが重要となります。

除草剤には必ず「移植後〇〇日まで、ただしノビエ〇〇葉期まで」などと表記しその除草剤が枯らすことができる葉齢限界を示しているのです、それまでに使うことが重要となります。

なお、中後期の除草剤には、落水状態にしてから散布することで効果を発揮するタイプのももあります。

除草剤を散布する場合は、JAの稲作暦で枯らしたい草の登録を確認し、剤型もフロアブル剤、粒剤、ジャンボ剤（投げ込み）、流し込み専用の顆粒剤など多数取り揃えてありますので、目的にあったものをお選び下さい。

詳しくは、経済課（Tel 2-1133）までお問い合わせ下さい。



稲は根が地中にあり、成長点は処理層より下にあるので枯れません。

草の成長点が処理層より上にある状態では効果がないので、早めの処理が不可欠です。

営農情報

平成30年度経営所得安定対策について

平成30年度の「経営所得安定対策」がスタートしました。

これまでの制度との大きな違いは、昨年まで対象となっていた、コシヒカリやきぬむすめなどの「主食用米」に対して支払われていた直接支払交付金（7,500円/10a）が廃止となったことです。

今年度からは水田の転作で、販売を目的に栽培した作物（隠岐では「そば」、「白小豆」、「黒大豆」、牧草などの「飼料作物」、「飼料用米」、稲発酵粗飼料「WCS」）などが対象となります。

5月中旬に4会場で受け付けを行い、現在申請手続きを進めています。対象となる方は5月末までを目途に手続きを完了して下さい。

原則、6月末以降の変更は認められませんので手続きがまだの方がおられましたら早めにお問い合わせ下さい。

また、今年からWCSのほ場には、ほ場確認のためのイボ竹（リボンには場情報記載）設置が義務付けられました。6月下旬がほ場確認となっておりますので、取り組まれる方は設置、確認等についてよろしくお願い致します。

なお、不明な点などありましたら左記へお問い合わせ下さい。

事務局・隠岐の島町地域農業再生協議会

隠岐の島町農林水産課 Tel 2-18563

JAしまね隠岐地区本部経済課 Tel 2-11133

（報告／経済課）

平成30年

営農座談会 Q & A

隠岐地区本部では、2月6日～9日の4日間で「平成30年営農座談会」を隠岐地区本部管内21会場で開催いたしました。座談会の中でご質問のあった事項につきましてご回答をいたします。

Q. アグリ革命（酵素による稲わらの腐熟促進剤）の散布するタイミングはいつがいいですか？

A. 条件次第では春でも大丈夫ですが、秋が最適だと思います。

Q. 資材の一元化について、どのような肥料に統一されていきますか？統一といっても地域によって肥料・農薬も適合があると思います。また除草剤にも100以上の銘柄があるという話は実際どうでしょうか？

A. 現在資材統一に向け、各地区本部で肥料・農薬の試験を行っています。地域性もあるので効果の良し悪しは出てくるとは思われますが、試験結果を分析して効果の高い資材を決めていく予定です。除草剤についても使い続けると耐性が出て効かなくなるので徐々に変えているところです。

Q. きぬむすめをライスセンターで乾燥してもらえますか？

A. 昨年のライスセンター改修で、5台中2台をコシヒカリがほ場からの直接搬入分が終わればきぬむすめを受け入れ出来るようにしています。調整は必要ですが可能な限り受け入れします。

Q. 浮き草の対策を教えてください。

A. 浮き草が発生後にジャンボ粒剤を施用すると浮き草に粒剤がのってしまい、圃場全体に広がらないことで、十分な除草効果が発揮されない場合がありますので、浮き草が発生する前にモゲトン粒剤を施用することをおすすめします。

Q. 座談会資料に掲載されている29年産米の出荷データで、コシヒカリのハデ干し米と特別栽培米の1等米比率が低いのはなぜですか？

A. ハデ干し米について、昨年はハデに掛かっている期間が長く、その間に品質が悪くなった物が見受けられました。また特別栽培米については、カメムシの影響で2等が多く、特別栽培米のコシヒカリを2等として受け入れたことなどもあると思います。

Q. きぬむすめの味はどうか？

A. コシヒカリが甘めとしたら、きぬむすめは甘さは控えめですが粒が大きく粘りが少ないため、業務用に人気のあるお米です。コシヒカリよりあっさりしているので近年若者にも人気が高く、また炊き上がりの色もコシヒカリより白いことも特徴となります。

Q. きぬむすめは自分でも買って食べてるが、コシヒカリに劣らず美味しいと思う。売れるのであればPRして推奨すべきと思うが、なぜコシヒカリより安いのか。

A. 元々業務用を中心に需要が多かった品種で、島根で扱う時からコシヒカリより若干低い単価設定となっていました。収量が多いので収支的にはコシヒカリより有利と考えており、経営所得安定対策の7,500円が廃止になることから考えても今後コシヒカリからきぬむすめへの転換を進めていこうと考えています。

Q. 自分のところは米選機のフルイ目の更新が出来ていませんが今年もできますか？

A. 昨年の集荷で確認しています。30年度の支援事業で半額をJAが助成致します。

Q. グラスショート（抑草剤）は、あぜは崩れませんか？

A. 根は残るので崩れません。草刈り後10cm程度草が伸びたところで施用すると、概ねそのままの状態が継続します。

Q. 全国の生産調整の状況はどうなっていますか？

A. 北海道や東北は反収の見直し等で増加する見込みです。関東はこれまでも生産調整は守っていませんので、30年産は不透明な状況です。

Q. 白小豆の単価について、物価も上がっているが取引価格がもっと高くなりませんか？大納言などもかなり高値で販売されていますが。

A. 北海道などと比較したら高値で取引して頂いています。毎年、取引先の訪問をしていますので、その中でも協議していきたいと思えます。

Q. 除草剤は数年したら変えた方がいいでしょうか？

A. 長年使うと抵抗性のある雑草が出るので、変えて使った方がいいと思えます。

Q. 廃プラ・廃農薬の回収は今年はないでしょうか？

A. 2年に1度行うため、今回は平成31年の2月頃になります。

目となります。JAしまねでは、より早く仕事を覚え皆様のご期待に添える様、「JA島根ユースカレッジ」として平成31年1月までの研修期間を設けており、さっそく4月より松江市の方で1か月の基礎研修を行いました。5月からは職場実習期間として隠岐地区本部のそれぞれの部署に配属されていますので、これから組合員、利用者の皆様との係わりを持たせて頂く中で、JAの様々な事業を通じ地域貢献を念頭に仕事に取り組んで参ります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

（報告／企画総務課）



隠岐地区本部では、今春新たに4名の正職員を採用し、4月1日に入組式を行いました。採用した4名の内2名は、今春島外の学校を卒業し隠岐へ帰ってきた若者であり、社会人1年

平成30年4月採用新入職員の入組式を実施

J
A
N
E
W
S

JA自動車共済にかかる 「隠岐地区本部 時間外・休日事故対応」 の変更について

隠岐地区本部管内におけるJA自動車共済にかかる事故受付につきまして、平成30年4月1日より次の通り変更となっておりますのでお知らせいたします。

なお、ご不明な点等ありましたら隠岐支店 金融共済部共済課（TEL2-1132）までお問い合わせください。

窓口営業日（8：45～17：00）の対応

変更前

事故専用ダイヤル（2-0122）へお電話して頂くと、隠岐地区本部の事故受付担当者がご対応いたします。



変更後

変更なし

休日・祝祭日及び営業日窓口終了後の対応

変更前

事故専用ダイヤル（2-0122）へお電話して頂くと、隠岐地区本部の事故受付担当者がご対応いたします。



変更後

事故専用ダイヤル（0120-258931）へお電話して頂くと、JA共済事故受付センターの担当者がご対応いたします。

読者の皆様のご意見・ご感想を紹介いたします。たくさんのお便りお待ちしております。



・毎回「家庭菜園」記事を楽しみにしています。一緒に防虫駆除の薬なども紹介して欲しいな！

（岬町・Mさん）

・誰でも気楽に立ち寄れる農業カフェ（JAしまねびよりカフェ）があればいいなと思います。情報・意見交換など出来る場がほしいです。

（上西・Iさん）

・クロスワードパズルが少し難しかったです。

（犬来・Yさん）

・今回はオクラです。1か所に2本ずつ植えるという事を知りませんでした。是非実行したいと思います。ありがとうございます。

（中村・Iさん）

・三月の初めに米子から大山をみました。雪が多かったと思います。

（上西・Fさん）

・地区本部の様子もわかるし、又、「家庭菜園」記事については妻が楽しんで見ております。また、料理も毎回楽しく拝見しております。

（加茂・Yさん）

・雑草との追いつけつこの日々が始まりました。除草剤の紹介や使用方法を教えてください。

（栄町・Mさん）

・「家庭菜園」記事のオクラの栽培が参考になりました。今、ハウスでポットまきしていますので、大変勉強になりました。

（東郷・Kさん）

・あたたかくなり、過ごしやすくなって、旬の野菜、くだもの、おいしく頂いている今日この頃です。感謝！

（原田・Sさん）

・「しまねうれしび」記事のさくら餅も、たけのこのチーズ焼きも、とてもおいしそうです。参考にさせて頂いてみます。（栄町・Mさん）

・「家庭菜園」記事に引き続き「しまねうれしび」記事もファイルすることにしました。たけのこの新しい食べ方、さっそく作り若い者も老人もよろこびました。

（有木・Mさん）

・いつも見慣れている春野菜に色々な養分があることが分かり、そのパワーをかみしめて食べます。

（上西・Hさん）

【お便り募集中】
本誌「クロスワードパズル」コーナーの応募要項をご覧ください。
本誌「JAしまねびより」またJAに対するご意見・ご感想をぜひお聞かせください。



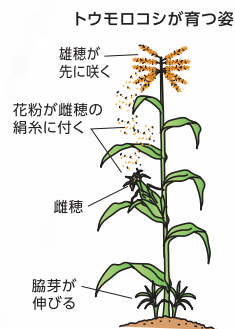
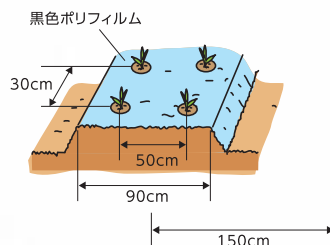
もぎたての 味を楽しむ トウモロコシ

板木技術士事務所 ● 板木利隆

もぎたての新鮮な味は格別で、夏の家庭菜園の立役者、スタミナ源としても魅力です。糖分の多いスイートコーンの品種改良は急速に進み、平成の初めごろに比べるとビタミンB群やCが約1.5倍に増えている物もあり、栄養価の充実した健康食材になっています。

イネ科の作物なので、野菜畑の連作障害を避けるための輪作に組み入れるにも好適です。

高温好み（適温は22～30度）なので、十分暖かくなってから種まきします。関東南部以西の平たん地では5月上旬以降が良いでしょう。図のように黒色ポリフィルムでマルチをし、株間30cmぐらいに、1カ所3粒まきし、育つにつれて間引き、草丈17～20cmになった頃間引いて1本立ちにします。

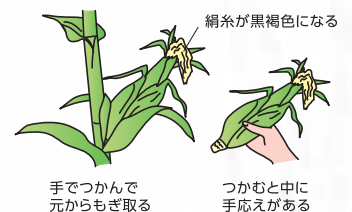


粒がぎっしり付いた良品を得るには、雌穂に雄穂の花粉が十分に付くことが大切です。そのためには株数をある程度多く、1列植えよりも複数植えにしましょう。少ない株数で花粉不足が懸念されるときには、開花した雄穂の下辺りを手のひらで軽くたたいて花粉を散らし、下方の雌穂に付きやすくしてやりましょう。

葉の働き（光合成）を良くするために、下の方から出た脇芽は取り除かないで葉数を多くします。また雌穂は上の方の一番大きい1穂だけ残し、他の小さい雌穂は取り除きます。

追肥は草丈40～50cmの頃と、先端の雄穂が始めた頃の2回、化成肥料を与えます。施肥量の目安は、1株当たり大さじ1杯としますが、前作の残渣（さ）が多く、葉の緑が濃く旺盛に育っていたら適宜量を減らしてください。2回目の追肥の後、株元が小高くなるほど土寄せし、株元の不定根を多く伸ばし風で倒れるのを防ぎます。

収穫は絹糸の先が黒褐色に変色した（受粉後22～26日）ころです。先の方まで十分膨らんでいることを確かめてからもぎ取ります。



近くに異品種があると、その受粉によって雌穂の粒に花粉親の形質が現れます。これをキセニアといいます。例えばあまり甘くないスイートコーンの近くで栽培すると、味や品質が著しく低下してしまいます。

交雑率は花粉親株と種子親株の距離が離れるほど低くなり、距離0.3mの平均交雑率は23%、10～50mでは0.1～0.3%と極めて低くなるという調査データがあります。参考にしてください。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

シロアリ警報!初夏は羽アリが多発!!

無料調査



お宅は大丈夫ですか?

シロアリ来襲

初夏は羽アリが出る季節。気付かないうちに住みついているかも。早めの防除があなたの家を守ります。

シロアリの予防・駆除は確かな実績と安心のJAへご相談下さい。

シロアリ防除は「(公社)日本しろあり対策協会登録企業」であることを必ず確認しましょう。

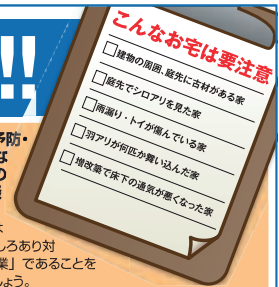
JAのシロアリ予防・駆除は安心です。毎年莫大な量の木材が、シロアリや木材腐朽菌によって失われております。JAとして、組合員の皆様の住まいの耐用年数を延ばし、住まいを守る天災対策として、シロアリおよび腐朽被害対策を行っております。

環境に適合した薬を使用

(公社)日本しろあり対策協会で効力・安全性の審査に合格した認定薬剤を使用しています。

資格者(プロ)による施工

(公社)日本しろあり対策協会の施工仕様にとりしりろあり防除施工士が施工しています。



取扱業者

株式会社 コダマサイエンス

(公社) 日本しろあり対策協会正会員
会員番号 島根県 002
会員番号 鳥取県 002

(本社) 〒690-0048 島根県松江市西塚島 2丁目 8-23

本社 TEL.0852-43-0852 FAX.0852-43-0866

JA全農基本契約業者「株児玉商會」特約施工店

松江営業所 TEL.0852-26-6757 益田営業所 TEL.0856-22-5390
江津営業所 TEL.0855-52-6852 隠岐営業所 TEL.08512-2-2471

<http://www.kodama-s.co.jp/>

床下の無料調査(シロアリ駆除・防除等)に伺います。

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの地区担当者が訪問しますので、よろしくお願致します。



お問い合わせは、最寄のJA各支店へご連絡ください。

JAしまね 定期積金

スプリングキャンペーン2018

キャンペーン期間 2018.4.2月-5.31月

期間中、定期積金をご契約でいずれかプレゼント!

定期積金

おさいふカードポイント 250ポイント

or

はんなり堂

ぎつちんふきん3枚組 (いすわが あびこつ)

品切れの場合は他の粗品に代えさせていただきます。

JAプレミアム定期積金

やめて貯まるか

おさいふカードポイント 500ポイント

or

BOXティッシュ

5個パック

品切れの場合は他の粗品に代えさせていただきます。

- 商品種類/定期積金(定額式・目標式)
JAプレミアム定期積金
やめて貯まるか(定額式・目標式)
- ご利用できる方/個人の方
- ご契約期間/3年以上
- ご契約金額/50万円以上
- 掛込方法/口座振替に限りです

JAバンクは、どなたでもご利用いただけます。
くわしくはお近くのJA窓口までお問い合わせください。

JAしまね

写真はイメージです。

理事会情報 (3月29日開催)

- 協議事項**
- ①平成30年度県域品目販売手数料について
 - ②平成29年度Jしまね農業振興支援事業第6回(3月)申請について
 - ③平成30年度農業振興支援事業の予算計画等について
 - ④平成30年度国庫及び県単補助事業の実施について
 - ⑤平成28年度産飼料用米の最終精算について
 - ⑥平成29年度産備蓄米の最終精算について
 - ⑦家畜市場業務規程及び家畜市場業務要項の一部改正について
 - ⑧葬祭会館利用料の変更・新設および葬祭会館利用管理規程の一部改正について
 - ⑨霊柩運送事業運営規程の一部改正について
 - ⑩一部改正について
 - ⑪平成30年度余剰金運用にかかる年次運用方針について
 - ⑫平成30年度第1四半期の余剰金運用計画額および運用方針について
 - ⑬組合と理事との取引(契約)の承認について
 - ⑭平成30年度における各種限度額について
 - ⑮平成30年度コンプライアンス・プログラムについて
 - ⑯平成30年度個人情報保護計画について
 - ⑰J A全国監査機構による期中改善指示事項(期中監査)に対する回答について
 - ⑱平成30年度事業取支計画について
 - ⑲株式会社J Aアグリ島根への出資時期の延期と出資割合の変更について
 - ⑳J Aいつでもアグリ開発株式会社の新規事業に伴う増資について
 - ㉑有限会社協同不動産の役員等の変更について
 - ㉒平成30年5月1日付け機構改革の実施について
 - ㉓いわみ中央地区本部「江津葬祭会館」の運営引き受け(業務提携先からの事業譲受)について
 - ㉔「意思反映・運営体制改革」の進め方について
 - ㉕常勤理事の他の団体理事への就任について
 - ㉖理事退任にかかる対応について
 - ㉗平成29年度下期分出資口数の減少(減口)の承認について
 - ㉘行方不明組合員等の脱退手続きに係る資格確認について
 - ㉙平成30年度地区本部総代説明会の開催について
 - ㉚地域・農業活性化積立金を活用したJ A共済連助成制度の平成30年度活用方針について
 - ㉛平成30年度J Aしまね「日本農業新聞」普及方針について
 - ㉜平成30年度J Aしまね「家の光三誌」普及方針について
 - ㉝西いわみ地区本部「J Aしまね居宅介護支援事業所」にヶ丘の廃止について
 - ㉞職員退職給与規程および選択定年退職要項の設定について
 - ㉟確定給付企業年金規約等の一部改正について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

J Aしまねびどり

本誌は地球環境に優しい植物油墨を使用しております。
VEGETABLE OIL INK

しまねうれしぴ

料理研究家 土井小百合

グリーンピースとホタテの炊き込みご飯



●材料 (4人分)

米	2合	薄口醤油	大さじ1
グリーンピース	適量	みりん	大さじ1と小さじ1
ホタテ缶詰(小)	1缶	酒	大さじ1
人参	1/3本	だし昆布	1枚

●作り方

- ①米は30分前に研ぐ。
- ②グリーンピースはさやから出し洗い、水を切る。
- ③人参は1cm長さの細い千切りにする。
- ④炊飯器に米、調味料、ホタテ缶の汁を入れ、水を炊飯器のメモリ2まで入れ混ぜる。
- ⑤グリーンピース、ホタテ、人参、昆布を上に乗せ炊く。
- ⑥炊き上がったら、昆布を取り出し軽く混ぜる。

この時期しか食べられない生のグリーンピース。米と一緒に炊いた方がおいしく出来上がります。さやから出してしまくとすぐに硬くなってしまうので、さや付きのまま保存して、家族とさやから出してごはんを作ってみてください。ホタテを入れるといつものグリーンピースご飯がちょっとだけ豪華な味になりますよ。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通(ののむらなおみち)先生に描いていただいています。

今月の表紙は、浜田市と江津市にまたがる島根県立石見海浜公園にある水族館「しまね海洋館アクアス」です。約400種1万点の生物を展示する中四国最大級の水族館。2018年春より日本初!兄弟2頭によるシロイルカパフォーマンスをご覧ください。「幸せのバブルリング®」「幸せの魔法マジックリング」「幸せの緑ミラクルリング」が公開されています。



【今月の表紙の原画】
レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっております。原画の全体は次のとおりです。

編集後記

わが家の春の農作業の楽しみの一つに、野兎との出会いがあります。休耕田を耕起するのは5月中旬。この頃になると田んぼの草丈が、15cmくらいになっています。身を隠すにはちょうどよいでしょう。トラクターが近づくと、じっとしているようですが、急にびよびよんと飛び跳ねて行きます。「危ないからもっと早く出てきてよ」と言いたいくらいです。(星)

J Aしまね 公式ホームページ
https://ja-shimane.jp/

2018年5月16日付発行(月1回発行)
編集/J Aしまね ふれあい福祉課・隠岐地区本部
発行/島根県農業協同組合 隠岐地区本部

〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151 TEL.0851-2-2-1131 FAX.0851-2-2-4320